

地域の魅力を発見するトークイベント

# ゆめはくカフェ

## YUMEHAKU-CAFE

May-July 2021

ゆめはく  
まち

BUCHI E ~ YUMEHAKU

萩市

6/19 sat

「旅と交流」

松浦 弥太郎 × 塩満直弘

美祿市

6/12 sat

「楽しみを発掘する」

梅原 真 × 松田寛之

津和野町

7/10 sat

「医食同源」

稲葉俊郎 × 大江健太

山口市

5/15 sat

「芸術文化のコミュニティ・  
派生するサロン」

藤 浩志 × 明日香 健輔・渡邊朋也

防府市

6/26 sat

「発酵・日々たべること」

高山なおみ × 光浦 健太郎

宇部市

7/18 sun

「伝統から紐づく暮らし」

田中元子 × 永山貴博

山陽小野田市

5/23 sun

「産業と暮らしの嗜み方」

藤原徹平 × 池本美和



主催：山口ゆめ回廊博覧会実行委員会



山口県東洋館新館  
山口ゆめ回廊  
博覧会  
YAMAGUCHI YUME KABO EXPO

# ゆめはくカフェとは

山口ゆめ回廊博覧会が開催される山口県央連携都市圏域の

7市町をつなぐリレー形式のトークイベントです。

地域ホストはそれぞれのエリアで活躍するキーパーソン、

ゲストは圏域外で活躍するアーティストやクリエイター。

両者の掛け合わせで、地域の魅力を掘り起こしていきます。

会場となるのは各地域のとおきの場所。

カフェでくつろぐように、楽しいおしゃべりに耳を傾けてください。



進行役  
山出淳也



聞き手  
服部滋樹

1970年生まれ。NPO法人BEPPU PROJECT代表理事、アーティスト。文化庁在外研修員としてパリに滞在（2002～04年）。アーティストとして国際的に活躍した後、2005年にBEPPU PROJECTを立ち上げ現在に至る。混浴温泉世界実行委員会 総合プロデューサー（2009年～）、第33回国民文化祭・おおいた 市町村事業 アドバイザー、文化庁 審議会 文化政策部会 委員（第14期～16期）、グッドデザイン賞 審査委員（2019年～）、山口ゆめ回廊博覧会コンダクター（2019年～）、平成20年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞（芸術振興部門）。

1970年生まれ、大阪府出身。京都芸術大学芸術学部教授、クリエイティブユニットgraf代表、クリエイティブディレクター、デザイナー。建築、インテリア、プロダクトに関わるデザインや、ブランディングディレクションなどを手がける。デザインリサーチからコンセプトを抽出し、地域や社会基盤もその領域として捉え、仕組みの再構成と豊かな関係性を生み出すコミュニケーションをものづくりからデザインする。プロジェクトからプログラムへ、ムーブメントからカルチャーへ育むデザインを目指している。

## 山口市

### ① 「芸術文化のコミュニティ・派生するサロン」

5月15日(土) 14:00～ 会場: 阿東文庫

室町時代の大内文化を受け継ぎ、今も芸術・文化が盛んな山口市。市内に数多くある芸術・文化に関連した施設やコミュニティの活動を知り、それぞれの役割や関係性、今後の連携について考えます。

**藤 浩志 Fuji Hiroshi**  
美術家。秋田公立美術大学大学院複合芸術研究科教授。奄美大島出身の両親の影響で大島紬周辺で遊ぶ。京都市立芸術大学在学中演劇活動に没頭した後、地域をフィールドとした表現活動を志し、全国各地の現場でプロジェクト型の表現を模索。同大学院修了後バプアニューギニア国立芸術学校に勤務し原典的表現と社会学に出会い、バブル崩壊期の再開発業者・都市計画事務所勤務を経て土地と都市を学ぶ。「地域資源・適性技術・協働関係」を活用したデモンストラーション型の美術表現により「対話と地域実験」を実践。https://www.fujistudio.co

**明日香 健輔 Asuka Kensuke**  
1964年大阪府生まれ。神戸大学経営学部経営学科II課卒業。2002年(有)FirstClassを設立。2007年山口県阿東町(現・山口市)に移住。移住後は廃校を活用した図書館「阿東文庫」の運営や、地元老舗和菓子屋を継業しリニューアルオープンし、本業、家業、副業、事業の複業を日々こなしている。2014年にYCAMの主催する「RADLOCAL」に参加。また同じくYCAMの展覧会「地域に潜るアジア」に参加するオープン・ラボラトリー」を契機に、一般社団法人SpedagiJapanを設立してハンブーパイクの開発と活用に取り組む。

**渡邊朋也 Watanabe Tomoya**  
1984年東京都生まれ。山口市在住。コンピューターやインターネットといったメディアテクノロジーをベースに、インスタレーション、映像作品、デジタル、エッセイなどを制作する。主なグループ展に「transmediale 2014」(2014年/ドイツ・ベルリン)、「のせでんアトライン2019」(2019年/兵庫+大阪)。主な個展に「信頼と実績」(2017年/京都)。著書に「SEIKO MIKAMI—三上晴子記憶と記録」(2019年/NTT出版/馬定延との共編著)がある。山口情報芸術センター[YCAM]アーキヴィスト、ドキュメント・コーディネーター。

地域ホスト  
**明日香 健輔**  
(阿東文庫)

ゲスト  
**藤 浩志**  
(美術家・秋田市文化創造館館長)

地域ホスト  
**渡邊朋也**  
(YCAM)

## 山陽小野田市

### ② 「産業と暮らしの嗜み方」

5月23日(日) 14:00～ 会場: ソル・ポニエンテ

日本の夕陽百選にも選ばれた焼野海岸や見事な地層や岩場が見られる本山岬公園、九州・四国までも望める竜王山公園など、美しい景観に恵まれた山陽小野田市。この地に移住し活動続けるガラス造形作家と気鋭の建築家が、地域の産業とそこに暮らす魅力を語ります。

**藤原徹平 Fujiwara Teppei**  
1975年神奈川県生まれ。建築家としてだけでなく、多様な領域を越境するアートフェスティバルの企画やまちづくり、教育プログラムのデザインに関わる。主な作品に〈等々力の二重円環〉、〈代々木テラス〉、〈稲村の森の家〉。著書に「7inch Project (#01) Teppei Fujiwara」など。受賞に横浜文化賞文化・芸術奨励賞、日本建築学会作品選集 新人賞、日本建築学会連合賞奨励賞、東京都建築士会住宅建築賞など。2012年より横浜国立大学准教授、2013年より宇部工科大学非常勤講師・選考委員・展示委員を務める。

**池本美和 Ikemoto Miwa**  
1972年広島県生まれ。山陽小野田市在住ガラス造形作家。きららガラス未来館では講師を務め、地域復興まちづくりの一環として、756人によるガラス絵画設置(山陽小野田市民病院)等参加型ガラス体験イベント企画をおこなう。また作家活動は吹きガラスによって建築空間への作品設置やテーブルウェア制作を手がける。主な作品は、銀座レカン、シャンデリア、ANAインターコンチネンタルリゾート右垣アートワーク制作など。第1回現代ガラス展 in 山陽小野田準大賞受賞。第5回現代ガラス展よりスーパードバイザーを務める。

ゲスト  
**藤原徹平**  
(建築家)

地域ホスト  
**池本美和**  
(ガラス造形作家)

## 美祿市

### ③ 「楽しみを発掘する」

6月12日(土) 15:30～ 会場: アンニヴェルサリオ・リストランテ ラルゴ (秋吉台国際芸術村内)

広大なカルスト大地や鍾乳洞などを資源とした観光が盛んな美祿市。「誰もが3億年の旅をしたくなる」をコンセプトに、原付バイクの貸し出し、ケイビングツアーといったアクティビティを提供するゲストハウス&カフェバ TRIP BASE COCONEELを事例に、地域の楽しみ方の発掘・創出について語り合います。

**梅原真 Umebara Makoto**  
高知県生まれ。デザイナー。高知県在住。高知というロカルルに拠点置き「一次産業×デザイン=風景」という方程式で活動する。かつおをテーマに「一本釣り・薫焼きたき」。柚子しかない村の「ほんぞうゆづの村」。荒れ果てた栗の山から「しまんと地栗」。砂浜しかない町の巨大ミュージアム「砂浜美術館」。どこにでもある新聞から「しまんと新聞ばっく」。秋田県の「あきたびしょん」。島根県の隠島・海士町の「ないものはない」のプロデュースなど。「土地の力を引き出すデザイン」で2016毎日デザイン賞・特別賞。武蔵野美術大学客員教授。

**松田寛之 Matsuda Hiroyuki**  
1981年美祿市生まれ。22歳で上京しインディーズバンドで活動。35歳で初めてサラリーマンとなる。たぐさの人の出会う中で人の世界観を聞くことが楽しく、人と関われる仕事をしたいと思い、2019年9月に秋吉台ゲストハウス TRIP BASE COCONEELを開業。美祿市の魅力を最大限に伝えるべく、未公開の洞窟を探検できるケイビングツアーや原付バイクで旅をするサービスを展開。

ゲスト  
**梅原 真**  
(デザイナー)

地域ホスト  
**松田寛之**  
(秋吉台ゲストハウス TRIP BASE COCONEEL)

# 地域をもっと知る、考える。気になるテーマはどれですか？

## 萩市

### ④ 「旅と交流」

6月19日(土) 14:00～ 会場: 萩ゲストハウス ruco

江戸時代の地図がそのまま使える城下町・萩市のゲストハウスrucoで、旅と交流をテーマにトーク。宿泊客にはリピーターも多く、移住して行く人もいるというrucoの事例から、人との交流や旅をすることで生まれるものについてお話しします。

ゲスト  
**松浦 弥太郎**  
(エッセイスト・クリエイティブディレクター)

地域ホスト  
**塩満直弘**  
(ruco)

## 防府市

### ⑤ 「発酵・日々たべること」

6月26日(土) 14:00～ 会場: お茶室 芳松庵 (防府天満宮内)

毎日の食卓に欠かせない醤油や味噌などの醸造業が盛んな防府市。家で過ごす時間が増え、日常の何気ないことがかけがえのないことになった今、食にまつわるあれこれをテーマにトークします。

ゲスト  
**高山なおみ**  
(料理家・文筆家)

地域ホスト  
**光浦 健太郎**  
(光浦醸造)

## 津和野町

### ⑥ 「医食同源」

7月10日(土) 14:00～ 会場: 糧 (医食の学び舎 旧畑迫病院内)

会場となる糧は、津和野町の国指定名勝旧堀氏庭園の一部として文化財指定された、旧畑迫病院で運営される医食同源をコンセプトとした場。津和野の暮らしや医食同源を体現することで見てきたもの、またこれから目指すものをテーマにお話しします。

ゲスト  
**稲葉俊郎**  
(医師・医学博士)

地域ホスト  
**大江健太**  
(糧)

## 宇部市

### ⑦ 「伝統から紐づく暮らし」

7月18日(日) 14:00～ 会場: igual coffee (永山本家酒造場2F)

自然と産業がバランスよく混在する宇部市。そこで明治から続く永山本家酒造場が大切にしてきたものや地域との関わりについて知るとともに、変わりゆく時代の中で遺したい伝統や景観、受け継がれていく産業と生活、そこに住む人たちの幸せについて考察します。

ゲスト  
**田中元子**  
(株式会社グランドレベル 代表取締役社長・喫茶ランドリーオーナー)

地域ホスト  
**永山貴博**  
(永山本家酒造場)

参加費: 500円(お茶代) 定員: 各回15名(抽選) お問い合わせ: TEL.080-4272-0824 (BEPPU PROJECT・山口ゆめ回廊博覧会 ゆめはくカフェ担当)

申込方法: 各開催日の10日前までにメールでお申し込みください。ご希望のイベントの番号 ①～⑦・氏名・電話番号・住所を明記

申込先アドレス **info@yumehaku.jp**

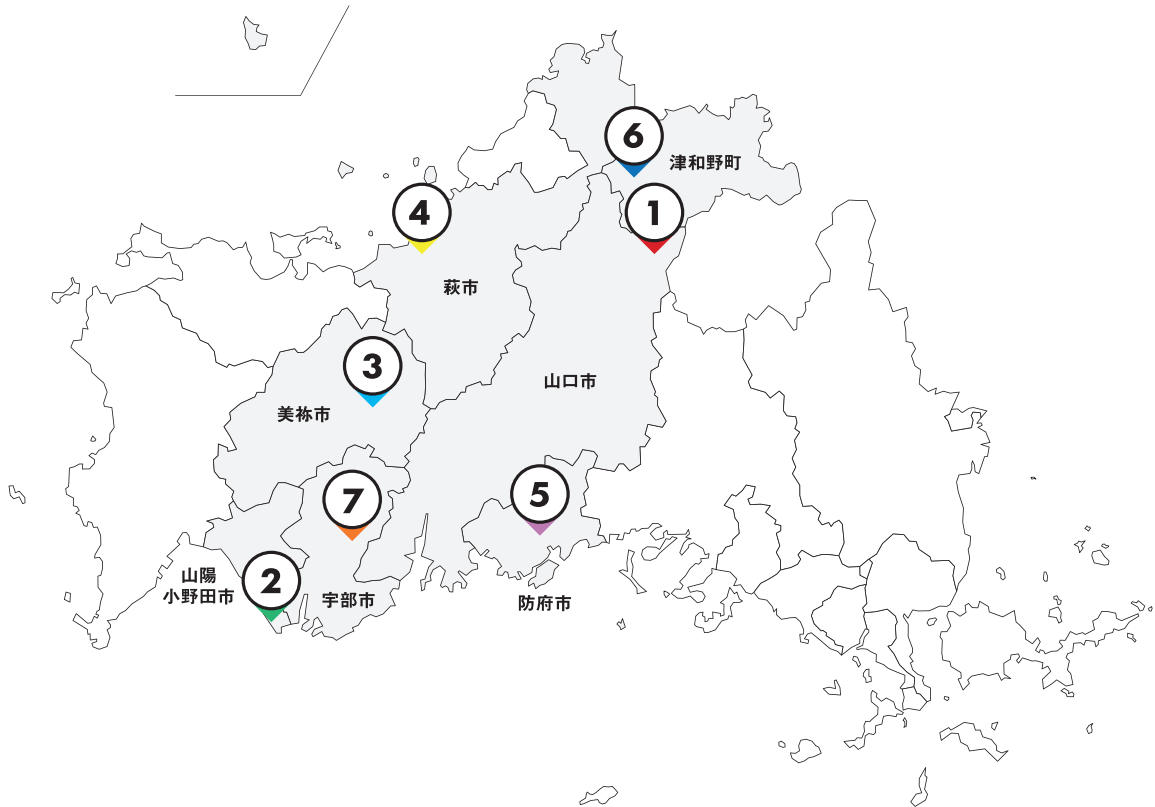
抽選結果は、各開催日の1週間前までにメールで通知します。  
※お送りいただいた個人情報は厳重に管理のうえ、トークイベントの抽選にのみ使用します。

# ゆめはくカフェ開催会場

自家用車でお越しの際は、各会場の駐車場をご利用ください。

※萩会場の ruco については、近隣の有料駐車場をご利用ください。

<p><b>1</b> <b>阿東文庫</b> 山口市阿東徳佐上新田亀山 旧亀山小学校 ◎アクセス ・JR 徳佐駅から車で約10分 ・JR 船平山駅から徒歩で約35分</p>	<p><b>4</b> <b>萩ゲストハウス ruco</b> 萩市唐穂町92 ◎アクセス ・JR 新山口駅からバスで萩バスセンターまで(東萩駅行き・約1時間) ▶徒歩で約5分</p>
<p><b>2</b> <b>ソル・ポニエンテ</b> 山陽小野田市小野田760 ◎アクセス ・JR 小野田駅から車で約15分 ・山口宇部空港から車で約24分</p>	<p><b>5</b> <b>お茶室 芳松庵</b> 防府市松崎町14-1 防府天満宮内 ◎アクセス ・JR 防府駅から徒歩で約15分 ・JR 防府駅からバスで防府天満宮まで(阿弥陀寺行き・約5分)▶徒歩で約3分</p>
<p><b>3</b> <b>アンニヴェルサリオ・リストランテ ラルゴ</b> 美祿市秋芳町秋吉50 秋吉台国際芸術村内 ◎アクセス ・JR 新山口駅から車で約40分 ・JR 新山口駅からバスで秋芳洞まで(秋芳洞行き・約40分)▶車で約5分 ・JR 新山口駅からバスで大田中央まで(東萩行き・約40分)▶車で約5分</p>	<p><b>6</b> <b>糧</b> 島根県鹿足郡津和野町邑輝829-1 医食の学び舎・旧畑迫病院内 ◎アクセス ・JR 津和野駅からバスで畑ヶ迫まで(長野行き・約20分)▶徒歩で約2分</p>
<p><b>7</b> <b>igual coffee</b> 宇部市車地138 永山本家酒造場2F ◎アクセス ・JR 厚東駅から車で約5分</p>	



## ゆめはくカフェ通信『kakeru』を、 7月より順次発行!

7月より、ゆめはくカフェの取材記事や  
地域のおみやげ・グルメ・イベントなどを掲載した情報誌を、  
圏域内外の主要な文化拠点施設にて配布予定です。お楽しみに。

## 山口ゆめ回廊博覧会 2021年7月～12月

ゆめはくとは、山口県央連携都市圏(山口市、宇部市、萩市、防府市、美祿市、山陽小野田市、島根県津和野町)で開催する「山口ゆめ回廊博覧会」の愛称。ゆめはくでは、地域の特徴をいかしたイベントがもりだくさん! 特別な場所で体験するアートと食のコラボレーションや、普段は見ることができない場所を案内するスペシャルなまち歩きなど、ゆめはくで、「いま・ここ」でしか体験できないイベントに参加しよう!

公式 Web サイト <https://yumehaku.jp>



[新型コロナウイルス感染予防対策実施について]

各種イベントは新型コロナウイルス感染症への対策を十分に施したうえで実施します。また、状況に応じて随時イベントの開催可否・内容変更を検討し、変更した内容は公式 Web サイトでご案内いたします。

お問い合わせ: 山口ゆめ回廊博覧会・ゆめはくカフェ担当 (BEPPU PROJECT 内) TEL.080-4272-0824